

取り組みに対する感想を聞いてみました



区の取り組みに対する期待と、まちづくりについての熱い思いを語る壽時さん

中央区に暮らす住民の立場から、まちづくりを考えている市民団体「中央区まちづくり協議会」会長の壽時康二さんにお話を伺いました。

「方針の中の、協働に関する考え方については大賛成です。これからは『協』という文字が、まちづくりのみならずあらゆる分野においてのキーワードになるでしょう。

しかし、もっと、中央区でしかできないような、区の色を出してほしいです。

また、地域で活動する企業にも目を向け、市民・企業・行政が三位一体となるような取り組みを行ってほしいですね。

当協議会としても、これらの区の取り組みに注目していきたいと思います」。

◆区の取り組み第一号

「皆様の声」意見箱の設置

「皆様の声」意見箱を区役所一階と中央保健センターの一階に設置し、来庁者の皆さんの意見を広く聴きます。

そして、お寄せいただいた皆さんの意見を担当課に伝え、今後の中央区の改善のための参考にしながら、それを業務に反映させていきます。

また、お寄せいただいた声の要旨や回答をホームページや掲示板で紹介します。



「皆様の声」意見箱と記載用紙

◆一人の思いが

みんなを動かす

一人の職員が提案したものの。それは毎週月曜日の始業前の三十分で、庁舎周辺のごみを拾うことです。

皆さんへの約束です



中央区長 岡田 俊介

市民から信頼され親しまれる区役所になることや、市民と共に考え行動することとは、いまさらのことと思われるかもしれませんが。

しかし、このことをきちんとやらなければ、私たちは協働型社会を皆さんに語る事ができません。

このことは区民の皆さんに対する「約束」です。いかにこの約束を果たしていくか、まさにこれからが正念場になります。

「区役所周辺の住民が路上のごみを拾っていました。誰が捨てたとも知れないごみを拾う心配りに、自分も何かしなくてはという気持ちに駆られました」。この取り組みはこんな思いがきっかけでした。

こうした思いに共感した職員が、軍手とごみ袋を手にも、ごみ拾いを始めました。

これは決して強制ではなく、職員が自主的に参加するもの。これこそが、職員自らが変わっていくこうとする気持ちの現れです。



区役所前の歩道のごみを拾う職員(国道230号沿い)

運営方針を支えるために、職員も自ら変わります。